

ポイント1 動名詞の使い方・不定詞との関係性

復習英文例 We like **to play tennis**. (likeの目的語)

この文章におけるto play tennisは、likeの目的を表す「不定詞の名詞的用法」でした。この部分は**動詞の～ing形【動名詞】**でも表せます。

We like **playing tennis**. (likeの目的語)

「私たちはテニスをするのが好き」（意味は変わりません。）

例：I began **studying** English. = I began **to study** English.

「私は英語を勉強することを始めた。」

I like **making** cakes. = I like **to make** cakes.

「私はケーキをつくるのが好きだ」

**最難関ポイント**

動詞の目的語には①「不定詞も動名詞もOK」、②「不定詞だけ」、③「動名詞だけ」、④「不定詞と動名詞で意味が変わる」という4パターンが存在します。ここから先は②～④を解説していきます。

※①は大多数の動詞が該当するので②～④以外は①だと思ってください。

②「不定詞だけ」を目的語にとる動詞

agree（～に賛成する）、**want**、**hope**（～を希望する）、**wish**、**decide**（～を決める）、learn、promise（約束する）、plan（計画する）など

※太字は学校の定期テストや公立高校入試問題でよく出題される単語

例：I **want to go** to the movie. (I want going to the movie. ✗)

「私は映画に行きたい」

例：They **decided to stop** working. (They decided stopping working. ✗)

「彼らは働くことをやめるのを決めた」

③ 「動名詞だけ」を目的語にとる動詞

**enjoy**, **finish**, give up (～をあきらめる), avoid (～を避ける), **mind** (～を気にする), **stop** (～をやめる) など

例: I **enjoyed swimming**. (I enjoyed to swim. **×**)

「私は泳ぐことを楽しんだ」

例: Takeshi **finished reading** that book. (Takeshi finished to read that book. **×**) 「タケシはあの本を読むことを終えた(読み終えた)」

それでは本題です。②と③の動詞の使い分けはどのようにすればいいのでしょうか？

1、全て「暗記」する。・・・「**enjoy, finish**の後ろは動名詞だよ！」

→ 学校・塾あるある。暗記が得意な生徒はこれでもよし！

2、「イメージ」で区分する。【おすすめ】

→ want **to do** (～をしたい)・・・具体的な動作は「**これから**」やる

→ decide **to do** (～することを決める)・・・具体的な動作は「**これから**」やる

→ enjoy **~ing** (～することを楽しむ)

・・・「**今(過去)している(していた)動作**」を楽しむ

→ give up **~ing** (～することをあきらめる)

・・・「**今(過去)している(していた)動作**」をあきらめる。

不定詞だけを目的語にとる動詞・・・近未来にその動作をする

動名詞だけを目的語にとる動詞・・・進行中(現在・過去)の動作が対象

例: decide・・・～することを決める→～に当たる部分はこれから行う動作

例: enjoy・・・～を楽しむ→今(過去)やっている動作に対する感情

(to) 不定詞＝近未来、動名詞＝進行形(現在・過去問わず)のイメージで区分しましょう。この方法が絶対ではありませんが、高校入試レベルの文法問題であれば十分に対応できます。丸暗記でも構いませんが、いずれ忘れます。「どっちだっけ？」と頭を悩ませてきた生徒を何人も見てきました。根本を考える重要性のきっかけになってくれればと思っています。

④ 「不定詞と動名詞で意味が変わる」

代表的な動詞：remember , forget , try , stop

例1 : **Remember to visit** him in the hospital.

「**忘れずに**病院で彼を訪れてください。（**忘れずに**彼を見舞ってください）」

(to) 不定詞が用いられているため、「**これから彼を訪れる (近未来)**」を覚えておくという意味を表しています。

例2 : I **remember visiting** him in the hospital.

「私は彼を見舞ったことを**覚えています**」

※先ほどの「イメージ」の感覚で上記の例文を考えてみましょう。

動名詞（～ing）が用いられているため、「**過去に見舞った行為**」を覚えているという意味を表しています。

例3 : Don't **forget to visit** Kobe. 「神戸を**訪れるのを忘れない**でね」

(to) 不定詞が用いられているため、「**これから神戸を訪れる (近未来)**」を**忘れない**という意味を表しています。

例4 : I'll never **forget visiting** Kobe.

「私は神戸を**訪れたことを**決して**忘れない**でしょう」

動名詞（～ing）が用いられているため、「**過去に神戸を訪れたこと**」を**忘れない**という意味を表しています。

例5 : She **tried to open** the window. 「彼女は窓を**開けよう**としました」

(to) 不定詞が用いられているため、「**これから窓を開けること (近未来)**」に**挑戦した**という意味を表しています。※実際はやらなかったことが多い

例6 : She **tried opening** the window. 「彼女は**試しに**窓を**開けて**みました」

動名詞（～ing）が用いられているため、「**過去に窓を開けること**」に**挑戦した**という意味を表しています。

例7 : Tom **stopped to use** his cellphone.

「彼は携帯電話を**使うために立ち止まった**」

(to) 不定詞が用いられているため、「**これから携帯電話を使うため (近未来)**」に**立ち止まった**という意味を表しています。

例8 : Tom stopped using his cellphone. 「彼は携帯電話を使うのをやめた」

動名詞 (～ing) が用いられているため、「過去 (現在) に携帯電話を使っている行為」を中断したという意味を表しています。

不定詞だけを目的語にとる動詞・・・近未来にその動作をする

動名詞だけを目的語にとる動詞・・・進行中 (現在・過去) の動作が対象

例 : decide・・・～することを決める→～に当たる部分はこれから行う動作

例 : enjoy・・・～を楽しむ→今 (過去) やっている動作に対する感情

不定詞・動名詞のまとめ

- 1、不定詞の名詞的用法 (～すること) = 動名詞 書き換え問題が出題される。
- 2、不定詞だけを目的語に取る動詞が存在する。
- 3、動名詞だけを目的語に取る動詞が存在する。
- 4、不定詞と動名詞で意味が変わる → 2～4 は上記枠内のイメージを参考にする

確認問題 1

1、次の文の ( ) 内から適する語句を選び、○で囲みなさい。

- (1) We enjoyed ( swimming / to swim ) in the sea.
- (2) The boy stopped ( crying / to cry ) and began to laugh.
- (3) I wish ( going / to go ) abroad.
- (4) I'll never forget ( meeting / to meet ) her in Karuizawa last summer.
- (5) I hope ( seeing / to see ) her again in Tokyo.

2、次の英文を日本文に直しなさい。

(1) She stopped to talk to me.

---

(2) She stopped talking to me.

---

(3) Don't forget to lock the door.

---

(4) I remember locking the door.

---

## ポイント2 主語・補語・前置詞の目的語になる動名詞

1、To play tennis is a lot of fun.

= Playing tennis is a lot of fun. 「テニスをすることは楽しい」 【主語】

2、My hobby is collecting stamps.

= My hobby is to collect stamps. 「私の趣味は切手を集めること」 【補語】

※My mother is cooking. (現在進行形) ・ My hobby is cooking. (動名詞)  
補語・・・ My hobby = cookingが成立する。

3、He is good at playing soccer. 【前置詞の目的語】

※前置詞・・・ in , on , at , ofなど。前置詞の後ろには必ず「名詞」が来る。

・前置詞の目的語になる動名詞でよく使われる表現

be afraid of～ing (～することを恐れる) be fond of～ing (～することを好む)

be good at～ing (～することが得意だ)

be interested in～ing (～することに興味がある)

How about ～ing? (～するのはどうですか)

look forward to～ing (～することを楽しみに待つ)

thank A for～ing (=してくれたことをAに感謝する)

### 確認問題2

次の英文を日本語に直しなさい。

(1) Using a computer for a long time is not good for your eyes.

---

(2) My father's hobbies are taking pictures and fishing.

---

(3) After having lunch, she began reading today's paper.

---

(4) I am interested in collecting used books. ※used books・・・古本

---

(5) He went out without saying anything. ※without・・・～なしで

---

(6) Thank you for inviting us to your house. ※invite・・・～を招く

---

## 模範解答

### 確認問題 1-1

- (1) swimming (2) crying (3) to go (4) meeting (5) to see

### 確認問題 1-2

- (1) 彼女は私に話しかけるために立ち止まった。  
(2) 彼女は私に話しかけるのをやめた。  
(3) ドアを閉めるのを（鍵をかけるのを）忘れないでね。  
(4) 私はドアを閉めたのを覚えています。

### 確認問題 2

- (1) 長い時間コンピューターを使うことは、あなたの目にとってよくない。  
(2) 私の父の趣味は写真を撮ることと釣りです。  
(3) 昼食を食べた後、彼女は今日の新聞を読み始めました。  
(4) 私は古本を集めることに興味がる。  
(5) 彼は何も言わずに出て行った。  
(6) あなたの家に招いてくれてありがとう。